

平成24年7月17日

高松市長 大西秀人 殿

高松市香南地区地域審議会
会長 赤松千壽



建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見の
取りまとめについて（回答）

酷暑の候、貴職におかれましては、ますます御清栄のこととお喜び申し上げます。

日ごろは、本地域審議会の運営等につきまして格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成24年4月26日付け高地政第83号により依頼のありました、建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見の取りまとめについて、下記のとおり意見集約を図りましたので回答いたします。

記

1 提出書類

建設計画に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見について

建設計画（合併基本計画）に係る平成25年度および26年度の
実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
1	県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備	<p>県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備については、高松市から香川県に対して強く要望しているにも関わらず、香川県では当面の対策として、現道の機能強化による効果の検証を行う必要があるとの理由で、国道193号線交差点から県道高松香川線の区間において、交差点改良および歩道整備の検討を行っており、バイパス道路の具体的な整備については白紙状態です。</p> <p>現道である県道三木綾川線の朝夕の慢性的な交通渋滞を解消するとともに、高松空港をはじめ高松西インターチェンジや新高松市民病院への重要なアクセス道路として、県道三木綾川線バイパスルート（仮称）の整備について、高松市として香川県に対して引き続き働き掛けをされるよう要望します。</p>
2	県道の整備	<p>高松市が生活基幹道路として整備する、香川町から香東川を渡り香南町の市道城渡吉光線までの区間から西方向については、香東川橋梁から県道円座香南線までの区間に、東西にほぼ直線で走る新しい県道ができれば、非常に分かりやすく走りやすい道路となり、交通安全面での有効な道路になって、広く多くの県民がこの橋を利用することになるとともに、結果的に県道三木綾川線バイパスルート（仮称）を補完する道路にもなると思います。高松市が整備する香東川橋梁の供用開始までに、当該県道整備の事業化に取り組みられるよう、高松市として香川県に対して働き掛けをされるよう要望します。</p> <p>また、県道円座香南線は由佐街道として古くから香南町の南北の幹線道路として親しまれている県道であるものの、大規模な道路改良についてはなされておらず、路肩の幅員も十分でなく歩行者には危険な道路です。高松市の生活基幹道路として整備する香東川の新しい橋梁を利用した車両等が、県道円座香南線を安全に通行するためにも、歩道の整備を含めた道路改良工事を行うよう、高松市として香川県に対して引き続き働き掛けをされるよう要望します。</p>
3	地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）の整備	<p>香川県議会において、その整備が凍結されていました。地域高規格道路（高松空港連絡道路）（仮称）について、一定の方向性が示され、香南町内の工事区間については、既存の道路の拡幅や一部区間においてバイパス整備を行い、空港へのアクセス向上を図ることが発表されました。</p> <p>このことは、高松市が粘り強く香川県に働き掛けた成果であり、今後も香川県と綿密な協議等を行い、関連する市道香川綾南線の拡幅やバイパス整備については、特に周辺住民の安全対策を講じるとともに、早急に地元説明会を開催するよう、高松市として香川県に対して引き続き働き掛けをされるよう要望します。</p>
4	香南こども園の運営支援	<p>日常運営の中での安心・安全の視点から、学級担任が学級での指導に専念できるように教職員を増配し、特別保育は指導者に専門的知識や技能等が要求されるため、それに対応した教職員を配置するとともに、特別保育のレベルアップを図るための教職員研修を実施されるよう要望します。</p> <p>また、幼児教育の重要性に鑑み、高松市の幼保一体化施設のモデル園にふさわしい幼児教育を実施するための、教材・教具の整備充実を図るよう要望します。</p>

建設計画（合併基本計画）に係る平成25年度および26年度の実施事業に関する意見について

地区名：香南地区

番号	項目	意見の内容
5	香南小学校大規模改修工事の早期着工	<p>香南小学校については、国の補助事業を受け、平成16年度に屋内体育館、平成17年度には南教室棟の大規模改修工事を終えています。</p> <p>未改修となっている、中教室棟および北教室棟の大規模改修工事の早期着工を要望するとともに、特に中教室棟にある教職員室は、建設当時に比べて職員数が増えているにもかかわらず建設当時のままであり、教職員室の増築についても合わせて要望します。</p>
6	防災行政無線の拡充	<p>防災行政無線のデジタル化に対応するための工事が予定されていますが、屋内での防災ラジオタイプの受信機による情報提供に加え、不特定多数の住民に対して、いつ発生するかわからない地震や台風等の災害情報を伝えるために、屋外子局の増設を要望します。</p> <p>また、屋内での防災ラジオタイプの受信機については、希望者が購入しやすい価格帯の機種選定を行うとともに、災害弱者等に対しては貸与や購入補助についても合わせて検討されるよう要望します。</p>
7	南部地域における特色あるスポーツ施設の整備	<p>南部地域における特色あるスポーツ施設の整備については、香南地区の建設計画の中でも重点取組み事項に位置付けられており、定例会や検討会において、その具体化に向けた協議を積み重ねてまいりました。</p> <p>整備候補地および施設内容等については、これまでの協議結果を尊重するとともに、建設計画の期限内に全ての事業を完了されるよう要望します。</p>
8	「ししまる館」図書室の充実	<p>ししまる館はこども園や小中学校に隣接し、高松市放課後児童クラブの実施場所にもなっており、子どもたちが立ち寄るには最も安全な場所になっています。ししまる館を利用した、地区保健委員会の「乳幼児の子育て広場」での本の読み聞かせでは、親子のふれあいも深まり本好きな子どもたちが育まれています。</p> <p>幼少期から本に親しむ習慣を身につけることはとても重要であり、ししまる館の図書室に子育て中の親子等も利用できる「親子ふれあい読書コーナー」を設置するとともに、常備図書については定期的に更新されるよう要望します。</p>